

司書資格取得のために大学において履修すべき図書館に関する科目一覧 [13科目24単位]

1. 基礎科目 4科目・8単位

生涯学習概論	図書館概論	図書館制度・経営論	図書館情報技術論
生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員役割、学習活動への支援等の基本を解説する。	図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基本を解説する。	図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。	図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応じて演習を行う。
2単位	2単位	2単位	2単位
1) 生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際	1) 図書館の現状と動向	1) 図書館法(逐条解説)	1) コンピュータとネットワークの基礎
2) 生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携	2) 図書館の構成要素と機能	2) 他館種の図書館に関する法律等(学校図書館法、国立国会図書館法、大学設置基準、身体障害者福祉法)	2) 情報技術と社会
3) 生涯学習振興施策の立案と推進	3) 図書館の社会的意義(ユネスコ公共図書館宣言、地域社会と図書館を含む)	3) 図書館サービス関連法規(子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等)	3) 図書館における情報技術活用の現状
4) 教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質	4) 知的自由と図書館(図書館の自由に関する宣言等)	4) 図書館政策(国、地方公共団体)	4) 図書館業務システムの仕組み(ホームページによる情報の発信を含む)
5) 社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携	5) 図書館の歴史	5) 公共機関・施設の経営方法(マーケティング、危機管理を含む)	5) データベースの仕組み
6) 自治体の行財政制度と教育関連法規	6) 公立図書館の成立と展開	6) 図書館の組織・職員(組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携)	6) 検索エンジンの仕組み
7) 社会教育の内容・方法・形態(学習情報の提供と学習相談、評価を含む)	7) 館種別図書館と利用者のニーズ	7) 図書館の施設・設備	7) 電子資料の管理技術
8) 学習への支援と学習成果の評価と活用	8) 図書館職員の役割と資格	8) 図書館のサービス計画と予算の確保	8) コンピュータシステムの管理(ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む)
9) 社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携	9) 図書館の類縁機関・関係団体(文書館を含む)	9) 図書館業務・サービスの調査と評価	9) デジタルアーカイブ
10) 社会教育指導者の役割	10) 図書館の課題と展望	10) 図書館の管理形態の多様化	10) 最新の情報技術と図書館

2. 図書館サービスに関する科目 4科目・8単位

図書館サービス概論	情報サービス論	児童サービス論	情報サービス演習
図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説する。	図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書・データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービス等の新しいサービスについて解説する。	児童(乳幼児からヤングアダルトまで)を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ、学校との協力等について解説し、必要に応じて演習を行う。	情報サービスの設計から評価に至る各種の業務、利用者の質問に対するレファレンスサービスと情報検索サービス、積極的な発信型情報サービスの演習を通して、実践的な能力を養成する。
2単位	2単位	2単位	2単位
1) 図書館サービスの考え方と構造	1) 情報社会と図書館の情報サービス	1) 発達と学習における読書の役割	1) 情報サービスの設計(レファレンス)
2) 図書館サービスの変遷(図書館法制定以降)	2) 図書館における情報サービスの意義と種類(レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等)	2) 児童サービスの意義(理念と歴史を含む)	2) レファレンスコレクションの整備
3) 資料提供サービスの基本(利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係)	3) レファレンスサービスの理論(利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等)	3) 児童資料(絵本)	3) レファレンスインタビューの技法と実際
4) 情報提供の形態と機能(レファレンスサービス、情報発信、講座・セミナー)	4) レファレンスサービスの実践(レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点等)	4) 児童資料(物語と伝承文学、知識の本)	4) 情報検索の技法と実際(各種データベースの検索演習や電子ジャーナルの活用)
5) 図書館サービスの連携・協力(図書館ネットワークの意義と形態)	5) 情報検索サービスの理論と方法	5) 児童サービスの実際(資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等)	5) 質問に対する検索と回答(質問の分析と情報源の選択を含む)
6) 課題解決支援サービス	6) 各種情報源の特質と利用法	6) 乳幼児サービス(ブックスタート等)と資料	6) 発信型情報サービスの実際(パスファインダーの作成を含む)
7) 障害者サービス	7) 各種情報源の解説と評価(参考図書、ネットワーク情報資源等を含む)	7) ヤングアダルトサービスと資料	7) 情報サービスの評価(レファレンス事例の作成・評価を含む)
8) 高齢者サービス、多文化サービス	8) 各種情報源の組織化(二次資料の作成、情報発信を含む)	8) 学習支援としての児童サービス(図書館活用指導、レファレンスサービス)	
9) 図書館サービスと著作権	9) 発信型情報サービスの意義と方法	9) 学校、学校図書館の活動(公立図書館との相違点を含む)	
10) 利用者に対する接遇・コミュニケーション、広報	10) 図書館利用教育(情報リテラシーの育成を含む)	10) 学校、家庭、地域との連携・協力	

### 3. 図書館情報資源に関する科目 3科目・6単位

図書館情報資源概論	情報資源組織論	情報資源組織演習
印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。	印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用法等を解説する。	多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。
2単位	2単位	2単位
1) 印刷資料・非印刷資料の類型と特質 (図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史を含む)	1) 情報資源組織化の意義と理論	1) 書誌データ作成の実際
2) 電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質	2) 書誌コントロールと標準化	2) 主題分析と分類作業の実際
3) 地域資料、行政資料 (政府刊行物)、灰色文献	3) 書誌記述法 (主要な書誌記述規則)	3) 主題分析と統制語彙適用の実際
4) 情報資源の生産 (出版) と流通 (主な出版者に関する基本的知識を含む)	4) 主題分析の意義と考え方	4) 集中化・共同化による書誌データ作成の実際
5) 図書館業務と情報資源に関する知識 (主な著者に関する基本的知識を含む)	5) 主題分析と分類法 (主要な分類法)	5) 書誌データ管理・検索システムの構築
6) コレクション形成の理論 (資料の選択・収集・評価)	6) 主題分析と索引法 (主要な統制語彙)	6) ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
7) コレクション形成の方法 (選択ツールの利用、選定・評価)	7) 書誌情報の作成と流通 (MARC、書誌ユーティリティ)	
8) 人文・社会科学分野の情報資源とその特性	8) 書誌情報の提供 (OPACの管理と運用)	
9) 科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性	9) ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ	
10) 資料の受入・除籍・保存・管理 (装備・補修・排架・展示・点検等を含む)	10) 多様な情報資源の組織化 (地域資料、行政資料等)	

### 4. 選択科目 (2科目以上選択)

<b>図書館基礎特論</b>	<b>図書館施設論</b>
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、基礎科目に関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館活動・サービスが展開される場としての図書館施設について、地域計画、建築計画、その構成要素等を解説する。
1単位	1単位
<b>図書館サービス特論</b>	<b>図書館総合演習</b>
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館サービスに関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。	必修の各科目で学んだ内容を掘り下げて学習し、理解を深める観点から、少人数を対象に、研究指導や論文指導あるいは見学会・講演会等を組み合わせた総合的な演習を行う。
1単位	1単位
<b>図書館情報資源特論</b>	<b>図書館実習</b>
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。	図書館に関する科目で得た知識・技術を元にして、事前・事後学習の指導を受けつつ公立図書館業務を経験させる。
1単位	1単位
<b>図書・図書館史</b>	
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書をはじめとする各種図書館情報資源の形態、生産 (印刷等含む)、普及、流通等の歴史、並びに図書館の歴史的発展について解説する。	
1単位	

## 大学における学芸員養成科目の改善

	科目名・単位数	ね ら い	内 容
1	生涯学習概論 [2単位]	生涯学習及び社会教育の本質と意義を理解し、生涯学習に関する制度・行政・施策、家庭教育・学校教育・社会教育等との関連、専門的職員の役割、学習活動への支援等についての理解に関する基礎的能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習社会の意義と生涯学習社会の構築</li> <li>・生涯教育論・生涯学習論の生成と展開</li> <li>・学習機会の多様化・拡大化</li> <li>・生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携</li> <li>・生涯学習振興施策の展開とその推進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の意義と特性</li> <li>・教育の原理と生涯学習の意義・特質</li> <li>・我が国及び諸外国における生涯学習の発展と特質</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習・社会教育行政の展開</li> <li>・生涯学習・社会教育行政の意義と役割</li> <li>・社会教育行政・生涯学習振興行政・一般行政の関連（関係法令と行政組織）</li> <li>・生涯学習・社会教育施設等の管理と運営</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の内容・方法と指導者</li> <li>・生涯学習の内容・方法・形態(成人の学習、生涯発達と教育の関連、学習情報の提供と学習相談を含む)</li> <li>・学習への支援と学習成果の評価と活用</li> <li>・生涯学習・社会教育指導者の役割</li> </ul>
2	博物館概論 [2単位]	博物館に関する基礎的知識を理解し、専門性の基礎となる能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館学の目的・方法・構成</li> <li>・博物館学の目的・方法・構成</li> <li>・博物館学史</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館の定義</li> <li>・定義(類縁機関との違いを含む)</li> <li>・種類(館種、設置者別、法的区分等)</li> <li>・目的</li> <li>・機能</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館の歴史と現状</li> <li>・我が国及び諸外国の博物館の歴史</li> <li>・我が国及び諸外国の博物館の現状</li> <li>・学芸員の役割(定義、役割、実態)</li> <li>・博物館関係法令</li> </ul>
3	博物館経営論 [2単位]	博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について理解し、博物館経営(ミュージアムマネジメント)に関する基礎的能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館の経営基盤</li> <li>・ミュージアムマネジメントとは</li> <li>・行財政制度</li> <li>・財務</li> <li>・施設・設備(ユニバーサル化を含む)</li> <li>・組織と職員</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館の経営</li> <li>・使命と計画と評価</li> <li>・博物館倫理(行動規範)</li> <li>・博物館の危機管理</li> <li>・利用者との関係(広報・マーケティング、ミュージアムショップ等)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館における連携</li> <li>・市民参画(友の会、ボランティア、支援組織等)</li> <li>・博物館ネットワーク・他館との連携</li> <li>・他機関(行政・大学・類縁機関等)との連携</li> <li>・地域社会と博物館(地域の活性化、地域社会との連携)</li> </ul>

	科目名・単位数	ね ら い	内 容
4	博物館資料論 [2単位]	博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得し、また博物館の調査研究活動について理解することを通じて、博物館資料に関する基礎的能力を養う。	<p>博物館における調査研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究活動の意義と内容(博物館資料に関する研究、資料保存に関する研究、博物館に関する研究等)</li> <li>・調査研究成果の還元</li> </ul> <p>博物館資料の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の意義</li> <li>・資料の種類</li> <li>・資料化の過程</li> </ul> <p>博物館資料の収集・整理・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集理念と方法 (情報の記録、収集の倫理・法規、受入手続き・登録等)</li> <li>・資料の分類・整理(目録作成を含む)</li> <li>・資料公開の理念と方法(アクセス権、特別利用等を含む)</li> </ul>
5	博物館資料保存論 [2単位]	博物館における資料保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得することを通じて、資料の保存に関する基礎的能力を養う。	<p>博物館における資料保存の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の保全(育成を含む)</li> <li>・資料の状態調査・現状把握</li> <li>・資料の修復・修理</li> <li>・資料の梱包と輸送</li> </ul> <p>博物館資料の保存環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料保存の諸条件とその影響(温湿度、光、振動、大気等)</li> <li>・生物被害とIPM(総合的有害生物管理)</li> <li>・災害の防止と対策(火災、地震、水害、盗難等)</li> <li>・伝統的保存方法</li> <li>・収蔵、展示等の保存環境</li> </ul> <p>環境保護と博物館の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の保存と活用(エコミュージアム等)</li> <li>・文化財の保存と活用(景観、歴史的環境を含む)</li> <li>・自然環境の保護(生物多様性・種の保存を含む)</li> </ul>
6	博物館展示論 [2単位]	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養う。	<p>博物館展示の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションとしての展示</li> <li>・調査研究の成果の提示</li> <li>・展示と展示論の歴史</li> <li>・展示の政治性と社会性</li> </ul> <p>博物館展示の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示の諸形態</li> <li>・展示の製作(企画、デザイン、技術、施工等)</li> <li>・関係者との協力(他館、所蔵者、専門業者等)</li> <li>・展示の評価と改善・更新</li> </ul> <p>展示の解説活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説文・解説パネル</li> <li>・人による解説</li> <li>・機器による解説</li> <li>・展示解説書(展示図録、パンフレット等)</li> </ul>

	科目名・単位数	ね ら い	内 容
7	博物館教育論 [2単位]	博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的能力を養う。	<p>学びの意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館教育の意義と理念</li> <li>・コミュニケーションとしての博物館教育(博物館教育の双方向性、博物館諸機能の教育的意義)</li> <li>・博物館教育の意義 (生涯学習の場としての博物館、人材養成の場としての博物館、地域における博物館の教育機能、博物館リテラシーの涵養等)</li> <li>・博物館教育の方針と評価</li> </ul> <p>博物館の利用と学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の利用実態と利用者の博物館体験</li> <li>・博物館における学びの特性</li> </ul> <p>博物館教育の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館教育活動の手法(館内、館外)</li> <li>・博物館教育活動の企画と実施</li> <li>・博物館と学校教育(博物館と学習指導要領を含む)</li> </ul>
8	博物館情報・メディア論 [2単位]	博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養う。	<p>博物館における情報・メディアの意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の意義(視聴覚メディアの理論と歴史を含む)</li> <li>・メディアとしての博物館(視聴覚メディアの発展と博物館)</li> <li>・ICT社会の中の博物館(情報資源の双方向活用と役割、情報倫理、学校・図書館・研究機関の情報化等)</li> <li>・情報教育の意義と重要性</li> </ul> <p>博物館情報・メディアの理論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館活動の情報化(沿革、調査研究活動、展示・教育活動等)</li> <li>・資料のドキュメンテーションとデータベース化</li> <li>・デジタルアーカイブの現状と課題</li> <li>・映像理論、博物館メディアの役割と学習活用</li> </ul> <p>博物館における情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報管理と情報公開</li> <li>・情報機器の活用(情報端末、新たなメディア経験等)</li> <li>・インターネットの活用</li> </ul> <p>博物館と知的財産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産権(著作権等)</li> <li>・個人情報(肖像権等)</li> <li>・権利処理の方法</li> </ul>
9	博物館実習 [3単位]	見学を含む学内実習や館園実習での現場体験を通し、多様な館種の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を養う。	<p>学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学実習(多様な館種の実態理解)</li> <li>・実務実習(資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務習得)</li> <li>・事前・事後指導(実習全体の指導、館園実習に関する指導)</li> </ul> <p>館園実習(博物館における実務体験)</p>
合 計 9科目 19単位			